

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火・4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	生体の機能(歯科臨床の新展開) Basic Human Physiology (New trend in Clinical Dentistry)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:久保至誠 /kubo@nagasaki-u.ac.jp/臨床教育・研修センター/オフィスアワー:金 16:00~17:30			
担当教員(オムニバス科目等)	吉田 圭一 / keiichi@nagasaki-u.ac.jp/教員研究室/オフィスアワー:月~金 16:00~18:00 丸山 陽市 / ymaru@nagasaki-u.ac.jp/教員研究室/オフィスアワー:火曜日 16:00~18:00		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:口腔の機能および虫歯や歯周病の原因を学びながら、創造的問題解決能力を身に付ける方法を体験する。銀歯や白い歯をいかにして作製するか、いかに口の中で機能しているかを理解し、個人のマネジメントの大切さを学習する。さらに、歯並びや噛み合わせの治療に用いられる歯列矯正の知識を獲得し、歯並びや噛み合わせが口腔機能に与える影響を考える。 授業方法:久保担当:講義、KJ法、ブレインストーミング 吉田担当:講義 丸山担当:講義、PBL 授業到達目標:口腔の機能および虫歯や歯周病の原因を理解し、口腔ケアを実践できる。 銀歯や白い歯を作る材料の特徴を理解し、口の中でいかに機能しているかを説明できる。 歯並びや噛み合わせによって生じる問題点を理解し、説明できる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) まず、口腔に関する基礎知識、口腔の健康と全身の健康との関係、虫歯や歯周病の原因とその予防法を学習する。次いで、虫歯や歯周病によって損なわれた口腔機能や審美性を回復させる材料について学ぶ。さらに、歯並びや噛み合わせによって生じる問題点とその解決法を考える。 第1回:アイスブレイキング、歯の構造に関する基礎知識、口腔の機能 第2回:医療におけるパラダイムシフト(DOSからPOSへ)、虫歯の原因と予防、コミュニケーション技法 第3回:口腔ケア、医師と患者の信頼関係構築、問題点の抽出(KJ法) 第4回:EBM(Evidence-based Medicine)とNBM(Narrative-based Medicine)、問題点への対応 第5回:MI(Minimal Intervention Dentistry)、歯と口の健康と全身の健康、グループ活動の成果発表 第6回:歯科における専門分野、歯科で使われる材料はどんな物? 第7回:銀歯や白い歯の作製手順、歯の色の測定 第8回:白い歯をはめるとどうなるの?キシリトールとは? 第9回:機械で白い歯を作れるの?歯周病とは? 第10回:不正咬合の基礎知識 第11回:歯列矯正の基礎知識 第12回:包括的な歯科治療での歯列矯正の役割、歯並びや噛み合わせによって生じる問題点を抽出 第13回:審美歯科治療の基礎知識、グループ討議による問題点の解決 第14回:グループ活動の成果発表 第15回:総括			
キーワード	POS、EBM、口腔ケア、銀歯、白い歯、色、歯科用材料、不正咬合、歯科治療、審美歯科治療		
教科書・教材・参考書	特になし。授業時に資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な参加状況:30% 小テスト:20% レポート:20% 授業時の総合評価:30%		
受講要件(履修条件)	授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合、成績評価の対象とならない。ただし、所定の証明を添えて欠席届を提出したときは、欠席時数について考慮することがある。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			